



2019年12月24日

各 位

会 社 名 オカダアイオン株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡田祐司
(コード番号 6294)
問合せ先 常務取締役管理本部長 前西信男
(TEL. 06-6576-1281)

木質バイオマス発電所由来の電気への切替について

このたび、当社は、森の電力株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：久保 好孝）及び、なでしこ電力株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：吉田 結子）と電力供給契約を締結し、2020年1月より、当社及び当社グループの全ての国内施設に対して、両社が提携する木質バイオマス発電所で発電した電気の供給を受けることとしましたので、お知らせいたします。

西日本の事業所においては、株式会社グリーン発電大分（大分県日田市、代表取締役：森山 和浩）、並びに、中国木材株式会社（広島県呉市、代表取締役：堀川 智子）伊万里発電所（佐賀県伊万里市）及び日向発電所（宮崎県日向市）の木質バイオマス発電による電気の供給を受け、東日本においては、主として株式会社一戸フォレストパワー（岩手県一戸町、代表取締役 小林 直人）、及び、株式会社ウツェイかわい区界発電所（岩手県宮古市、代表取締役：澤田 令）の木質バイオマス発電による電気の供給を受けることとなります。

本スキームの最大の特徴は、小売電気事業者が、日々毎時間ごとの発電側、需要側の計画提出が義務付けられている広域機関システム（電力広域的運営推進機関が運営する送電管理システム）において、上記のバイオマス発電所と当社の需要施設が紐づけされ、いわば、明確にトレーサビリティが確保された供給スキームであることです。

今回導入する電気は、固定価格買取制度（FIT）に対応した電源で、いずれも地域の森林資源を有効活用し、地域に根差して電力の地産地消に取り組んでいる発電所でもあり、これらの発電所由来の電気を調達することで間接的に再生可能エネルギーの普及促進と地域の森林整備、林業振興に寄与するものがあります。

弊社といたしましては、木材破砕機等の環境関連機器を取り扱う者として、商品・サービスの提供を通じて廃棄物の「3R」（Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル））に貢献していくとともに、今回の契約締結を契機として、事業活動で消費するエネルギーについても、環境負荷の低減に向けた活動に前向きに取り組んでいく所存であります。

以 上